



学校の経営方針

令和7年4月1日 校長 大澤 宏史

1. 十小の教育目標(◎…重点)

○よく考えて行動する子 ◎礼儀正しく思いやりのある子 ○健やかでたくましい子

2. 経営ビジョン『みんなで子供を育てる学校』

学校、保護者、地域とともに、十小の子供たちを、みんなで育てる学校にしていきます。十小の子供たちが、いろいろな大人に出会い、いろいろな方々と触れ合い、いろいろな経験ができる学校にしていきます。

- | | |
|----------|----------------|
| ・目指す学校像 | … みんなで子供を育てる学校 |
| ・目指す児童像 | … 思いやりのある子 |
| ・目指す教職員像 | … 授業と子供にフルスイング |

3. 十小の経営目標(R7→R8)

① みんなで子供を育てる学校

R7 …学校、保護者、地域の連携等、いろいろな大人が子供を育てる機会をつくる

R8 …学校、保護者、地域の連携等、いろいろな大人が子供を育てる機会を充実させる

② 思いやりのある子

R7 …人権意識と思いやりについて、自分事として考える子に育てる

R8 …人権意識と思いやりについて、自分事として考え、行動する子に育てる

③ 授業と子供にフルスイング

R7 …教職員の対話により、授業を改善し、教育活動を工夫する職場環境をつくる

R8 …教職員の対話により、教職員自らが教育をよりよく変えていく“自走する組織”になる

4. 目標達成上の課題

① みんなで子供を育てる学校

学校、保護者、地域等、複数の大人が力を合わせて子供を育てていく風土を、より強くする必要がある。

② 思いやりのある子

子供たち自身が、人権意識と思いやりについて考え、実践する場を設定する必要がある。

③ 授業と子供にフルスイング

教職員が対話できる時間の確保と、教職員が安心して考えを言い合える職場環境をつくる必要がある。

5. 目標達成のための具体的な方策

① みんなで子供を育てる学校

学校だよりや HP、保護者会や学校公開日を活用し、学校から地域、保護者への発信を継続する。また、学校体制を、教科担任制や交換授業など、複数の教員が子供に関われる体制に改善する。

② 思いやりのある子

道徳等の授業において、人権意識と思いやりについて、子供たち自身が考える機会を設ける。また、全校朝会等を活用し、全校で同じ意識の元、人権意識や思いやりについて見直しと確認ができる機会を設ける。

③ 授業と子供にフルスイング

教科担任制の活用等、教員が複数の学級に関わる環境を作り、教職員の対話が生まれる環境をつくる。また、時程の見直し等を行い、教職員が対話できる時間的ゆとりをつくる。

6. 経営の評価(年度末学校評価)

- (1) 児童の評価 (2) 教職員の評価 (3) 保護者・地域(学校関係者)の評価